

7.2.7 胆沢地域

(1) 概況

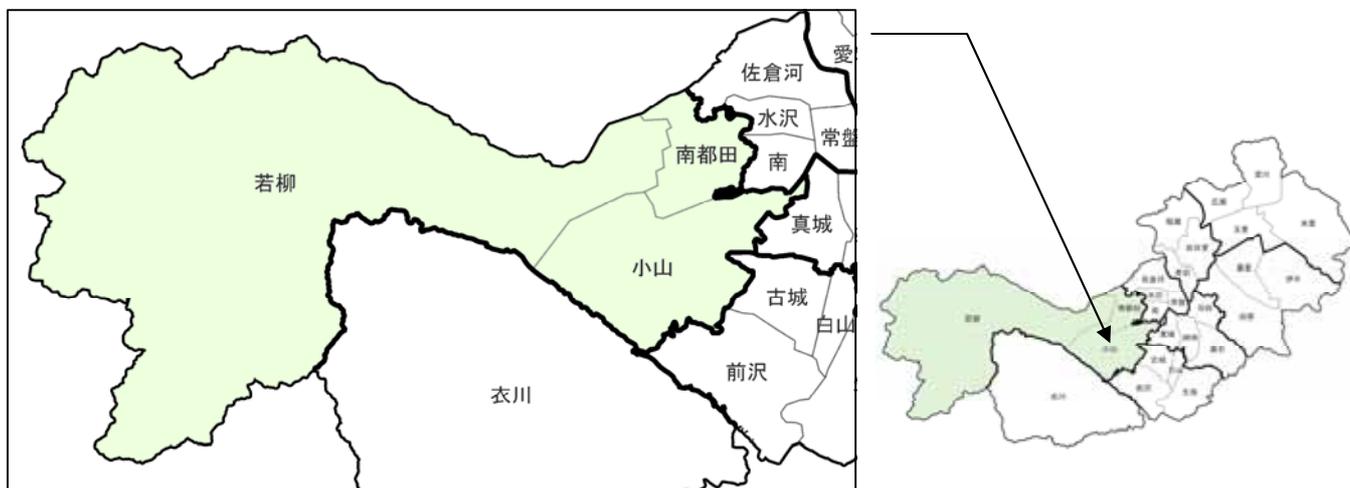
本地域は、市の西部に位置し、西に焼石岳等の標高1,000mを越す山々が連なり、この山岳地帯を源とする胆沢川によって形成された扇状地が水沢地域、前沢地域に向けて広がり、一帯が平坦な田園地帯となっています。

ブナの原生林が見られるなどの自然豊かな山岳地帯は、栗駒国立公園に指定され、本市の水源となっており、現在、胆沢ダムが建設されています。田園地帯はエグネと言われる屋敷林に囲まれた住居が点在する散居集落が一帯に広がり、日本三大散居集落とも称される農村景観が見られます。

先人が手がけた用水路整備等により、古くから農地が整備され、田園地帯は県内屈指の米どころとなっています。また、歴史・文化資源として縄文時代の集落跡である大清水上遺跡や前方後円墳としては日本列島最北端に位置する角塚古墳があります。

地域の幹線道路である国道397号や市道島袋大袋線は歩行者の安全確保のため、歩道の整備が求められています。

地域の位置図



(2) 地域の課題

土地利用

- ・ 胆沢総合支所周辺の地域拠点機能の維持・充実
- ・ 散居集落の保全
- ・ 低・未利用地の利用促進

道路・交通

- ・ 国道397号や市道島袋大袋線等の幹線道路や通学路における歩道の整備・充実
- ・ 胆沢総合支所周辺を中心としたバス路線網等の充実
- ・ 駅や他地域の観光拠点との連絡性の向上
- ・ 現在地、目的地がわかりやすい道路・交通環境の整備

自然環境、景観形成、公園・緑地

- ・ 焼石岳、胆沢ダム周辺に広がるブナ原生林の保全
- ・ 胆沢ダムや周辺の自然環境を活用した観光拠点の形成
- ・ 胆沢川や湧水の水辺環境の保全と潤いを感じられる空間づくり
- ・ 生態系に配慮した水辺環境の整備
- ・ 散居景観の保全と活用
- ・ 地域資源を活かした公園や緑地の整備・充実

暮らし

- ・ 公共公益施設等のバリアフリー化の推進と充実
- ・ 災害に強いまちづくりの推進
- ・ 市営浄化槽の整備等
- ・ 道路の通行者の安全確保

(3) まちづくりの目標と基本方針

水と緑と散居の郷いさわ

水と緑を活用した郷づくり

焼石岳、胆沢ダム周辺に広がる貴重なブナ原生林を保全するとともに、胆沢川等の水辺を保全し、自然環境に親しみがもてるまちづくりを目指します。

散居景観を活用した郷づくり

農業施策と連携を図りながら、豊かな田園環境と伝統的な農家の佇まいを保全するとともに、散居景観の魅力を広く情報発信し、地元住民が誇りを持って、多くの人を訪れるまちづくりを目指します。

歴史・文化資源を活用した郷づくり

大清水上遺跡や角塚古墳等の歴史・文化資源を保全し、次世代に引き継いでいくとともに、資源を活かした活力のあるまちづくりを目指します。

(4) まちづくりの方針

生活基盤整備の方針（拠点形成、道路・交通）

- ・ 胆沢総合支所周辺は、地域拠点として、行政、文化、医療、福祉等の日常生活を支援する機能の強化・充実を図ります。
- ・ 胆沢地域を特徴づける散居集落を保全するため、無秩序な開発の制限を図ります。
- ・ 胆沢ダム完成後に建設業者が撤退する胆沢ダムワークステーション等の低・未利用地の有効活用について検討します。
- ・ 国道 397 号は歩行者の安全性を確保するため、歩道の整備を促進します。また、他市町村との連絡性を向上させる通年通行の実現化に向けた取り組みを進めます。
- ・ 歩行者の安全性を確保するため、市道島袋大袋線等の交通量の多い道路や歩行者の多い小・中学校付近の道路の歩道整備を進めます。
- ・ 胆沢総合支所周辺を中心とした地域内や周辺地域を結ぶバス等の公共交通網の充実等により、交通利便性の向上を図ります。
- ・ 胆沢ダム周辺の観光拠点へのアクセス性を向上させるため、駅や他地域の観光拠点を結ぶバス等の交通機能の充実を図ります。
- ・ 一関市とを結ぶ市道尿前槻木平線を周遊型観光ルートとして整備を進めます。
- ・ 道路標識等を設置し、現在地、目的地が分かりやすい交通環境の整備を進めます。

自然環境の保全及び活用、景観形成、公園・緑地整備の方針

- ・ 胆沢ダム周辺については、ブナ原生林等の自然環境との調和に配慮した観光拠点としての整備を進めます。
- ・ 胆沢川等の河川や水路は、生態系に配慮した改修等を促進するとともに、環境保全や美化活動の取り組みを支援し、市民の憩いの場として潤いのある景観づくりと良好な水辺空間の形成を誘導します。
- ・ 湧水地を地域資源として保全するとともに、市民の憩いの場としての活用を検討します。
- ・ 散居景観を特徴づけるエグネ、キツマを保全しながら、観光資源としての活用を検討します。
- ・ 散居景観の魅力を広く情報発信するため、地域の代表的な視点場である見分森公園展望台の整備を進めます。
- ・ 自然環境、散居景観を身近に感じられるよう、材木運搬鉄道跡地をサイクリングロードとして活用することを検討します。
- ・ 角塚古墳周辺の公園化を検討します。また、歴史・文化資源の保全や環境整備により、まちづくりへの活用を図ります。
- ・ 親水空間や憩いの場等の整備にあたっては、計画段階から住民と協働して取り組み、地域ニーズに応じた整備を進めるとともに、住民による維持・管理等の官民協働の取り組みを促進します。

生活環境の整備の方針

- ・ 高齢者や障がい者、妊婦、けが人等の移動や施設利用者の利便性や安全性の向上のため、公共交通機関、建築物、公共施設のバリアフリー化を進めます。
- ・ 胆沢ダムの早期完成と胆沢川の護岸改修等の水害対策を促進します。
- ・ 河川や用水路等の水質改善及び環境保全を図るため、市営浄化槽の設置等を進めます。
- ・ 夜間の通行者の安全性を確保するため、防犯灯の適正な設置を促進するとともに、交差点においては、道路安全施設の設置を進めます。

胆沢地域まちづくり方針図

